

ヤマトラノオ *Veronica rotunda* Nakai var. *subintegra* (Nakai) T.Yamaz.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 4、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 12。草地性の植物で、愛知県では減少傾向が著しい。

【形態】

多年生草本。茎は直立して高さ 40~90cm になり、上向きに曲がる短毛がある。葉は対生し、ごく短い柄があるかほとんど無柄、葉身は広披針形、長さ 5~11cm、幅 1~2.5cm、先端は鋭頭、基部は次第に狭まり、辺縁にはとがった鋸歯があり、両面にまばらに短毛がある。花期は 8~9 月、茎の先端に長い穂状の花序を出し、多数の花を密につける。花には長さ 2~3cm の柄があり、花冠は青紫色、長さ 1mm ほどの筒部があり、その先は 4 裂して開出し、長さ約 5mm である。果実は蒴果で扁球状、先がややへこみ、長さ約 3mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根（芹沢 62911, 1992-8-29）、6 設楽西部（芹沢 70547, 70549-白花, 1994-8-31）。西：5 稲武（日比野修 4645, 1998-9-11）、19 旭（塚本威彦 832, 1993-9-24）、20 足助（芹沢 78799, 2003-8-27）、22 小原（塚本威彦 1261, 1994-7-29）、24 豊田東部（畑佐武司 2343, 2001-8-16）。ただし、一部の区画では、すでに絶滅している可能性がある。11 作手（菅沼、鳥居喜一 5437, 1971-8-22, HNSM）と 12 新城（日吉鳥原、鳥居喜一 6546, 1970-8-30, HNSM）で採集された標本もある。

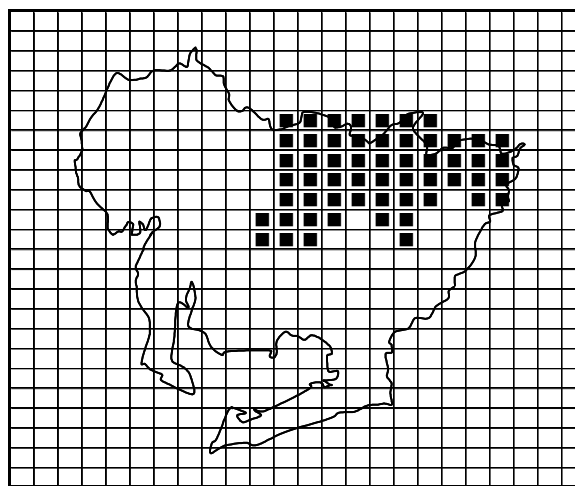
【国内の分布】

本州（関東地方、中部地方、中国地方）、四国、九州北部。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸東北部。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の草地に生育する。愛知県では、山地に断片的に残された草地や谷戸田周辺の里草地（いわゆるボタ）に残存している。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でも個体数は少ない。草地が広く存在した時代には、県北部ではかなり見られたらしい。

【保全上の留意点】

低山地の谷戸田周辺にある里草地は、草地性植物が多く生育しており、その中には絶滅危惧植物も多い。文化遺産としても重要で、特に保全に配慮する必要がある。

【特記事項】

葉が無柄のものを狭義のヤマトラノオ、短い柄があるものをヒメトラノオ form. *petiolatum* T.Yamaz. というが、はっきり区別できるものではない。

【関連文献】

保草本 I p.140, 平草本 III p.109, 平新版 5 p.88, SOS 旧版 p.80, SOS 新版 p.55,57.